

## 8月の主要変更点（概観部分）

### 一般経済の動向

7月 月例	8月 月例
<p>景気は、厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸出、生産は、持ち直している。</li> <li>・ 企業収益は、極めて大幅に減少している。設備投資は、大幅に減少している。</li> <li>・ 雇用情勢は、急速に悪化しており、厳しい状況にある。</li> <li>・ 個人消費は、このところ持ち直しの動きがみられる。</li> </ul> <p>先行きについては、当面、雇用情勢が悪化するなかで、厳しい状況が続くとみられるものの、在庫調整の一巡や経済対策の効果に加え、対外経済環境の改善により、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、生産活動が極めて低い水準にあることなどから、雇用情勢の一層の悪化が懸念される。加えて、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念、<u>金融資本市場の変動の影響</u>など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。</p>	<p>景気は、厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸出、生産は、持ち直している。</li> <li>・ 企業収益は、極めて大幅に減少している。設備投資は、大幅に減少している。</li> <li>・ 雇用情勢は、急速に悪化しており、厳しい状況にある。</li> <li>・ 個人消費は、このところ持ち直しの動きがみられる。</li> </ul> <p>先行きについては、当面、雇用情勢が悪化するなかで、厳しい状況が続くとみられるものの、在庫調整の一巡や経済対策の効果に加え、対外経済環境の改善により、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、生産活動が極めて低い水準にあることなどから、雇用情勢の一層の悪化が懸念される。加えて、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念など、<u>景気を下押しするリスク</u>が存在することに留意する必要がある。</p>

### 個別項目の判断

	7月月例	8月月例
住宅建設	<u>大幅に減少している。</u>	<u>減少している。</u>
輸入	<u>下げ止まりつつある。</u>	<u>持ち直しの動きがみられる。</u>

(注) 下線部は先月から変更した部分。